

令和2年8月5日

広島県知事 湯崎 英彦 様

広島県総合計画審議会

会長 荻 田 知 英

次期広島県総合計画の策定について（答申）

令和元年7月16日付け経企第214号で諮問のあった次期広島県総合計画については、これまで4回の審議会を開催し、審議を重ねてまいりました。

この間、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に基づくこれまでの取組と成果・課題について検証を行ったうえで、先行きが不透明で変化が激しい時代にあっても、県民一人ひとりの願いである仕事と暮らしの充実を目指して、30年後のあるべき姿を構想し、10年後の目指す姿とその実現に向けた取組の方向について、バックキャストの手法により議論を進めてきました。

また、本年からは、新型コロナウイルス感染症を契機とした、新しい生活様式や働き方、適切な空間の確保などに代表される新たな価値観の高まりを踏まえ、こうした変化をチャンスに転換する視点を持って、新たな広島県づくりに向けた審議を行いました。

その結果、県民が抱く様々な不安を軽減し、安心につなげることを基本として、安心の土台と誇りの高まりにより、県民が夢や希望に挑戦できる社会を目指していく「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン（案）」について、適当と認め、ここに答申します。

なお、新たなビジョンは、県民を始めとした様々な主体と一緒に進んでいくものであることから、分かりやすい広報に努め、県民の共感と具体的な行動につながることを期待します。